

# 岡山

## 岡山支局

〒700-0904 岡山市北区柳町1の1の17  
 TEL086(231)2111  
 FAX086(231)2129  
 okayama@mainichi.co.jp

倉敷支局 086(424)2221

【広告問い合わせ】

ビザビコミュニケーションズ  
 毎日新聞チーム 086(224)7175

【購読問い合わせ】

0120-468012

# 夢 童

菅波 茂

坂本佳子・北ドイツくハマナス咲く季節  
 18日(金)〜23日(水)、北区表町のホ  
 ワイトキャンバス。北区在住の画家・坂本  
 さん(086・225・6318)が描く  
 アクリル、パステルなど25点。写真は「ハ  
 マナスとバルト海」。

2013年9月10日。  
 総社市、岡山県立大学そ  
 してAMD Aの「世界の  
 命を救う！」三者連携の  
 調印式が総社市役所で行  
 われた。対象は災害、福  
 祉、教育・人材育成そし  
 て地域振興である。  
 組織のトップの権限は  
 巨大である。従来の日本  
 では調整型が理想であ  
 り、権限は封印されてい  
 た。現在は先が見えない  
 乱世である。政治家の使  
 命は変化に対応する条例  
 の制定である。内閣総理  
 大臣の権限の巨大さを小  
 泉純一郎氏が封印を解い  
 た。基礎自治体の首長の  
 権限を片岡聡一市長が具  
 現化している。東日本大  
 震災被災者救援活動に即  
 する。時に対応した「市民1人  
 1000円の見舞金」は良  
 きモデルである。予算を  
 可決した議会、実施した  
 行政マンに加えて賛同し  
 た市民。「総社市・AM  
 D A相互扶助ネットワー  
 クフォーラム」に参加し  
 たアジア各界のリーダー  
 達に感動を与えた「総社  
 市障がい者千人雇用推進  
 条例」に代表される福祉  
 政策。弱者にどう向き合  
 うのか。その精神風土は  
 備中国分寺の五重塔に象  
 徴される「慈悲の心」で  
 ある。世界に発信できる  
 普遍性のあるコンセプト  
 である。素晴らしきかな。  
 7万人の存在にして70億  
 人世界への発信力であ  
 る。

## 「世界の命を救う！」自治体・大学・NGO連携



AMD Aと岡山県立大学と総社市との  
 「世界の命を救う」連携協力に関する協定調印式  
 AMD A 岡山県立大学 総社市

岡山県立大学。これまで  
 で発信力に物足りなさを  
 感じていた。辻英明学長  
 (理事長)、阿部淳二事  
 務局長(副理事長)コン  
 ビが最後の切り札であ  
 る。「世界の命を救う！」  
 のメッセージは2004  
 年に石井知事によって作  
 られた「岡山県国際貢献  
 活動推進条例」にもとづ  
 いて、多様な共存に不  
 可欠な「コミュニケーション  
 ヲンデザイン学」の創設  
 が新たな課題となる。合  
 わせ技で、「命」に関する  
 発信力の強化になる。  
 世界に発信力がある。自  
 分の所属する共  
 同体を超えて支援をす  
 る。困った時はお互いさ  
 ま。助けたり助けられた  
 (AMD Aグループ代表

調印を終えた、左から筆者、辻県立大学学長、  
 片岡総社市長、渡邊総社市議会議長  
 超える福祉 世界の枠組みが大きく  
 変わるうとして。借  
 りする過程で生まれる  
 「尊敬と信頼」が物の見  
 方や考え方が異なる者の  
 共栄共存を可能にする。  
 多様な共存である。特  
 に災害支援が有効だった  
 が、福祉、教育そして地  
 域振興へとウイングを拡  
 大している。「国際相互  
 扶助ネットワーク」がそ  
 の具現化である。AMD  
 Aの「開かれた相互扶助」  
 に総社市の「慈悲の心」。  
 これに岡山県立大学の、  
 岡山県民益を志向する、  
 研究と教育の使命感の連  
 携が「世界の命を救う！」  
 三者連携である。目前に  
 迫っている南海トラフ対  
 応は当然のことながら、  
 世界平和に寄与する新し  
 いモデルの実績を、AM  
 D Aの国連政策提言資格  
 を活用して、岡山から世  
 界へ発信となれば望外の  
 喜びである。

本と子どものごころ」  
 講演会 19日(土)13  
 時半〜15時半、北区丸  
 の内の県立図書館多目  
 的ホール。鳴門教育大  
 (要申し込み)。5  
 人(犬飼さん(0  
 00円。犬飼さん(0  
 86・293・021  
 2)。  
 岡山シーガルス・フ  
 ーボール部  
 応援する会会員限定イ  
 ベント。当日入会も可  
 能。年費一般4000  
 円、高校生以下200  
 0円)。選手らと楽し  
 むゲームや、サイン  
 会など。同会事務局(0  
 86・297・3993  
 0)。  
 広場。町内8団体が特  
 産の「黒ぼろ芋」を  
 使った芋煮(一杯10  
 0円)で、得票数を競  
 う「芋一グランプリ」  
 や、特産品販売など。  
 小雨決行。町産業振興  
 課(0868・36・4  
 114)。  
 18時半〜20時、北区奉  
 還町の岡山国際交流セ  
 ンター5階。山田留美  
 子さんが、ホンジュラ  
 スでの母子保健事業に  
 ついて報告。AMD A  
 社会開発機構(086  
 ・2322・8815)。